

ヒトとモノ、ワザが動く ～拠点をつなぐ道・国府所在地の源流～

小松の地は、弥生時代に北陸を代表する拠点集落・八日市地方遺跡が営まれ、平安時代には加賀国府が置かれます。古くから海路と陸路が交わる物流の十字路としての役割を果たしてきたもので、このような弥生時代の拠点集落と国府が近接する例は、全国各地で確認することができます。

本フォーラムでは、特に地理的環境に注目しながら、弥生時代に拠点集落を結んでいた「見えざる道」に迫り、国府がその地に置かれた源流を探っていきます。

会場 サイエンスヒルズこまつ・わくわくホール B・C

基調報告 9:30～14:00 (昼休憩 11:50～13:00)

- ❖ 下濱 貴子 (小松市埋蔵文化財センター)
「加賀国の地理的環境、拠点集落と国府の位置」
- ❖ 松見 裕二 (吉野市教育委員会社会教育課)
「吉野国府の地理的環境と弥生時代の拠点集落」
- ❖ 細川 金也 (佐賀県文化課文化財保護室)
「肥前国 (佐賀平野) 所在の官衙関連遺構と弥生時代拠点集落について」
- ❖ 河合 章行 (鳥取県立むきばんだ史跡公園)
「因幡国府・伯耆国府の地理的環境と弥生時代の拠点集落」
- ❖ 河合 忍 (岡山県教育庁文化財課)
「備前国の地理的環境、拠点集落と国府の位置」
- ❖ 渡邊 裕之 (新潟県観光文化スポーツ部文化課)
「越後・佐渡国における弥生時代～古代遺跡の動態
ー「拠点」の形成とその背景ー」

問題提起 14:10～14:30

- ◆ 禰宜田 佳男 (大阪府立弥生文化博物館長)
「拠点をつなぐ道について考える」

パネルディスカッション 14:30～16:00

「拠点をつなぐ道・国府所在地の源流」

コーディネーター: 禰宜田 佳男 パネリスト: 基調報告者

埋蔵文化財センター秋季特別展のご案内

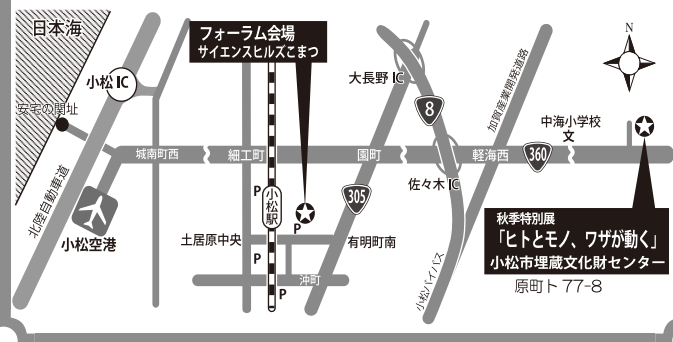
ヒトとモノ、ワザが動く

～拠点をつなぐ道・国府所在地の源流～

会期 10月1日(土)～12月11日(日)

弥生時代の拠点集落を結んだ「見えざる道」に焦点をあて、加賀国府が小松の地に置かれた源流を探ります。

- ◆ 展示観覧料: 100円・高校生以下無料
(こまつミュージアムバス利用可、団体割引有)
- ◆ 開館時間: 9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)
- ◆ 休館日: 毎週水曜日・祝日の翌日 (いずれも休祝日の場合を除く)



申し込み

◆ 電話: 0761-47-5713

◆ E-mail: maibun@city.komatsu.lg.jp

(※ 電話および E-mail いずれの場合も、下記 FAX 記載の項目と同じ内容をお知らせ下さい。)

FAX 申し込み記載用紙

FAX: 0761-47-5715

ふりがな 氏 名		日中ご連絡が取れる電話番号
住 所	〒.....	

◎ お車で越しの方は、小松駅周辺の有料駐車場をご利用下さい。

◎ 新型コロナウイルス感染状況により、定員や内容等が変更となる場合があります。